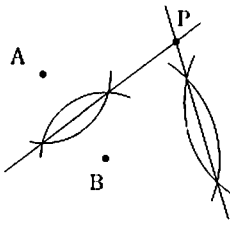
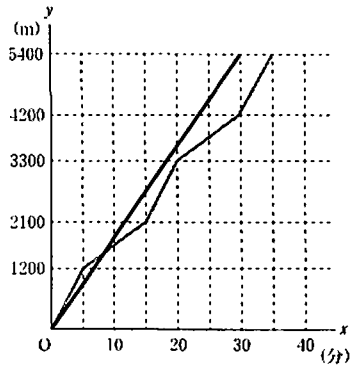


- 〔注意〕 1 この配点は、標準的な配点を示したものである。
 2 定められた答えの欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。
 3 指示された答えと違う表現で答えの欄に記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。
 4 採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

問	題	正	答	配	点	
1	1	-3	2	5	2 点 $\times$ 14 28	
	3	$40x^3y^3$	4	$\frac{7x-2}{6}$		
	5	$x^2 - 8x + 16$	6	$2a + 6$ (cm)		
	7	$5\sqrt{5}$	8	12(分後)		
	9	102(度)	10	$(x=) - 7, 1$		
	11	30(度)	12	6(通り)		
	13	$(x=) \frac{8}{3}$	14	$0 \leq y \leq 9$		
2	1	$40(\text{cm}^3)$	2	(例) 	1 は 3 点 2 は 4 点 3 は 3 点 10	
	3	$(a=) \frac{3}{2}$				
3	1	(例) 最も小さい奇数を $2n+1$ (n は整数) とすると、他の 2 つの整数はそれぞれ、 $2n+2, 2n+3$ と表せる。これらの和は $(2n+1) + (2n+2) + (2n+3) = 6n+6$ $= 6(n+1)$ $n+1$ は整数だから、 $6(n+1)$ は 6 の倍数である。 したがって、奇数から始まる連続する 3 つの整数の和は 6 の倍数になる。			1 は 6 点 2(1) は 2 点 $\times$ 2 2(2) は 5 点 15	
	(1)	ア	3	イ		6
	2	(例) 調理台の台数を x 台とすると、1 台の調理台を 4 人で使うときの生徒の人数は $(4x+3)$ 人、5 人で使うときの生徒の人数は $\{5(x-2)+4\}$ 人と表すことが できるから (2) $4x+3 = 5(x-2)+4$ $4x+3 = 5x-6$ よって $x=9$ したがって、このクラスの生徒の人数は $4 \times 9 + 3 = 39$ 答え(9 台, 39 人)				

問 題		正 答		配 点	
4	1	(例) △ABD と△ACE において 仮定より AD = AE① △ABC は正三角形だから AB = AC② ∠BAD = ∠ACB③ AE // BC より、平行線の錯角は等しいから ∠ACB = ∠CAE④ ③、④より ∠BAD = ∠CAE⑤ ①、②、⑤より 2 辺とその間の角がそれぞれ等しいから △ABD ≡ △ACE		1 は 7 点	15
	2	(1) $(a =)\sqrt{2}$	(2) $\frac{\sqrt{6}}{4}a^2(\text{cm}^2)$	2(1)は 3 点 2(2)は 5 点	
5	1	$(y =)240x$			16
	2	(1) 	(2) (例) 5 分後から 15 分後までの間のとき、A さんについてのグラフの傾きは 90 であるので、A さんについての x と y の関係の式は $y = 90x + b$ と表せる。 グラフは点 (5, 1200) を通るから $b = 750$ したがって $y = 90x + 750$① また、B さんについての x と y の関係の式は $y = 180x$② ①、②より $90x + 750 = 180x$ よって $x = \frac{25}{3}$ このとき $y = 180 \times \frac{25}{3} = 1500$ 答え (1500 m)	1 は 2 点 2(1)は 3 点 2(2)は 6 点 3 は 5 点	
	3	毎分 140 m, 毎分 165 m			
6	1	(A) 4 (枚), (B) 4 (枚)	2 $\frac{3}{8}$		16
	3	(例) (I), (II)の操作をあわせて 30 回行ったので $m + n = 30$① 必要となるシール B の枚数は、(I)の操作を m 回行ったときに $2m$ (枚)、最初の(II)の操作を行ったときに 3 枚、残りの $(n - 1)$ 回の操作では $4(n - 1)$ 枚である。シール B は 85 枚必要であるから $2m + 3 + 4(n - 1) = 85$ よって $m + 2n = 43$② ①、②より $n = 13$ ①に代入して $m + 13 = 30$ したがって $m = 17$ 答え ($m = 17, n = 13$)		1 は 2 点 2 は 4 点 3 は 6 点 4 は 4 点	
	4	$2m + 4$ (枚)			